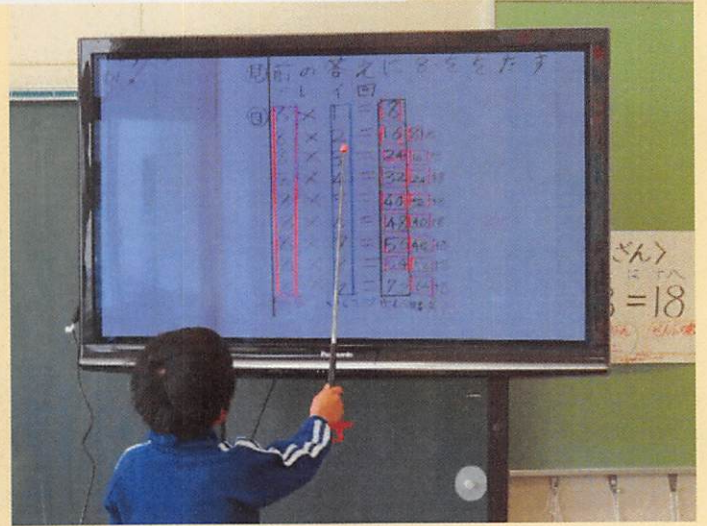


伝わる
その実感が、
プレゼン
を
双方向に
する。

奥州市立
常盤小学校

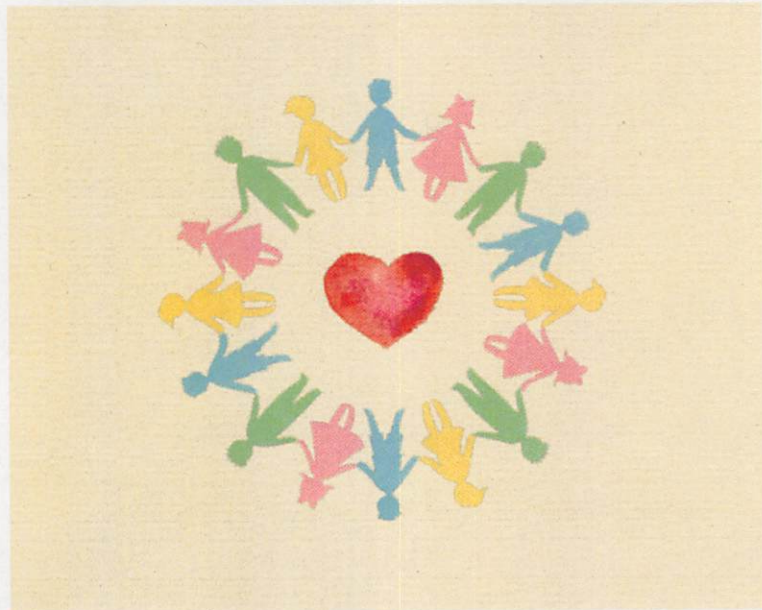
ICTの活用で、プレゼンのスキルが発揮されやすくなる。



実物投影機でノートを拡大表示し、それを使って発表する。

⑤

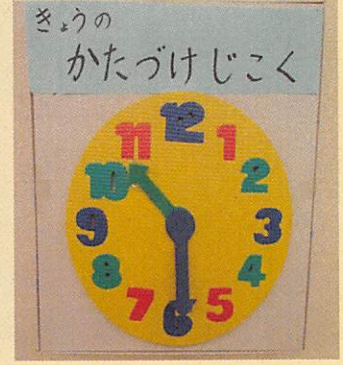
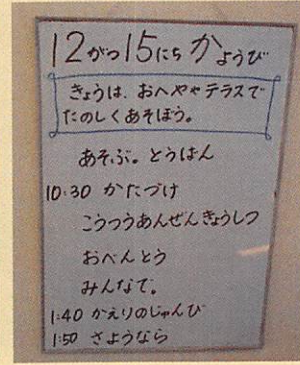
見通しを
持つ力
を
育てる
工夫



生活を
見通し、
期待する。

附属幼稚園

一日の生活の見通し、園生活に見通しが持てるような工夫



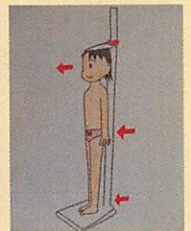
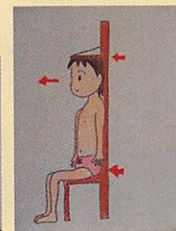
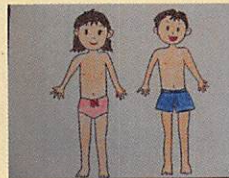
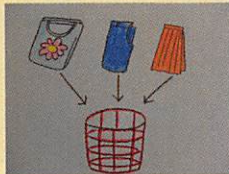
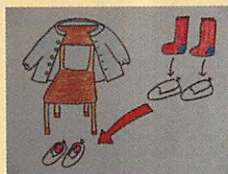
- ・1ヶ月という流れの中で「きょう」という日を伝える。
- ・「あと〇日で何がある」という先の見通しが持てる。

- ・一日の見通しを持てる
- ・図のような片付け時刻を示した模型の時計を掲示し、時計と見比べて、片付け時刻に気づけるようにする。

身体測定のイメージが持てるような工夫



初めての身体測定に安心して取り組めるように、手作りの紙芝居で具体的なイメージを伝える。



附属幼稚園

自分で確認できれば、安心して挑める。

2枚の三角じょうぎを使って、点Aを通り①の直線に垂直な直線をひきましょう。

① 直線①に三角じょうぎ1を両手で合わせる。

② そのじょうぎを左手ですれないようにしっかりおさえる。

③ 三角じょうぎの直角を右手で三角じょうぎ1にぴったり合わせる。

④ 点Aに合うように三角じょうぎ2を右手で動かす。

⑤ 左手で2枚の三角じょうぎをおさえて、右手でえん筆をもつ。

⑥ 2枚の三角じょうぎを左手でしっかりおさえながら、点Aを通る直線をひく。

課題 垂直な直線のひき方を考えよう。

垂直

垂直な直線の引き方。
黒板、左側で作業の実演をし、右側の解説と写真カードを見る、確認する。

実演
は
消える。

写真
は
残る。

滝沢市立
滝沢第二小学校

目安があれば、考えやすい。

三角形ABCの面積を求めましょう。

変形させる(四角形?)
平行四辺形

一人でするもん
ヒントがあればできるもん
みんなとつしよにやればできるもん

① 平行四辺形にする
② 底辺7cm
高さ4cm
③ $7 \times 4 = 28$
④ 2つに分ける
 $28 \div 2 = 14$ A. 14 cm^2

長方形
① 4cm ② 7cm
 $4 \times 7 = 28$
三角形2つだから
 $28 \div 2 = 14$ A. 14 cm^2

長方形
① 2cm ② 7cm
 $2 \times 7 = 14$ A. 14 cm^2

4cm = 2cm

方眼をつかって、図形とその面積に着目しやすくする。

思考
の
足がかり。

滝沢市立
滝沢第二小学校

今に
注目し、
次の活動
に取り組
みやすく。

奥州市立
岩谷堂小学校

実験結果の分類を可視化

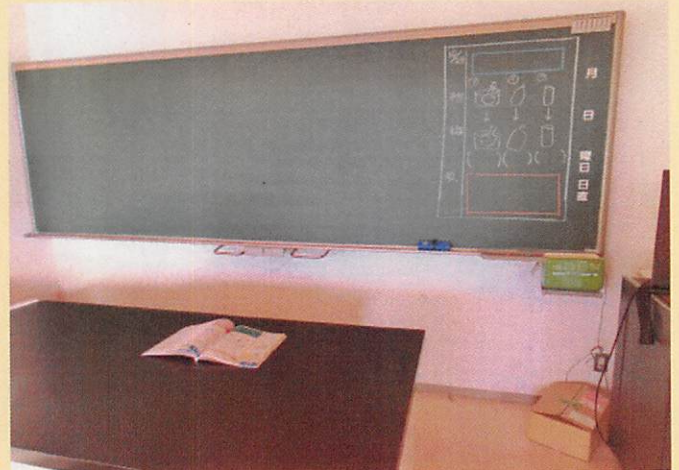


実験結果を色で分類
することで、それぞれ
に共通する特徴を捉え
やすくした。

ノート
の
完成型
を
見通す。

一関市立
萩荘小学校

ノートの書き方(レイアウト)
の明示。



授業のはじめに本時のノートの大まかな完成型を示しておくことで、子どもたちは「図はこのくらいの大きさを描けばいいんだな。」と、安心してノートに図を描くことができました。

どの子のノートも、1ページにぴったりとおさまりました。

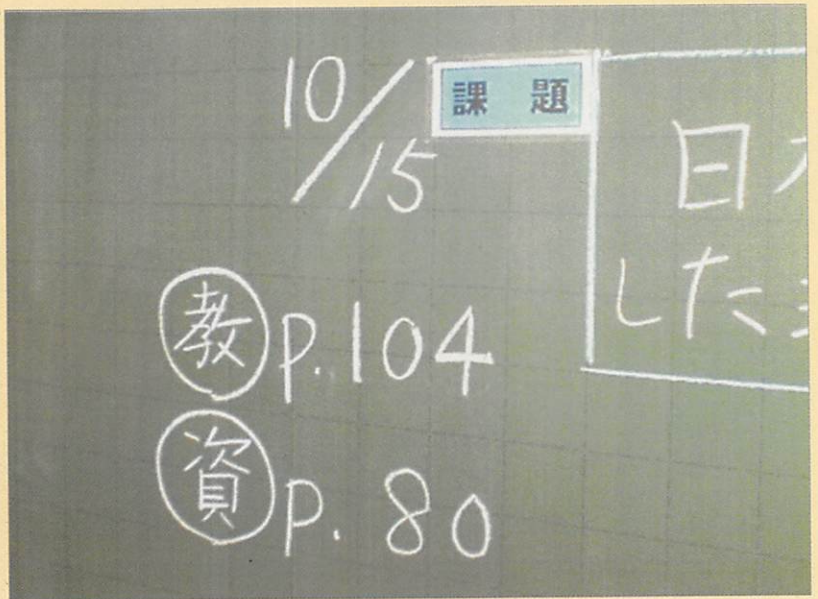
今に
注目し、
次の活動
に取り組
みやすく。

奥州市立
岩谷堂小学校

ノートや教科書のページを板書で明示。

学習のはじめに、黒板の定位置に記し、可視化する。

集中が途切れたときも、戻るところがわかれば復活しやすい。



1時間
の
学習内容
を
見通し、
振り返る

一関市立
萩荘小学校

フラッシュカードを活用



分数の大小比較をフラッシュカードで行いました。

- ①既習問題と未習問題が次々と示され、テンポよく答えることができました。
- ②答えが分からなかったカードから学習課題を作りました。
- ③適用問題として、答えられなかったカードにもう一度チャレンジしました。

子どもたちは、既習事項の確認・課題作り・適用問題がカードでつながったことで、本時での自分の成長をしっかりと確認することができたようです。